

日越間の医薬品・ヘルスケア協力を推進

2026年9月18日 | 医療

ベトナム保健省本部において、ドー・スアン・トゥエン保健副大臣は、富田久雄氏（Tomita Pharmaceutical Co., Ltd.代表取締役社長、Tomita Pharmaceutical Vietnam Co., Ltd.会長）を団長とする日本企業視察団との会談を主催しました。



会談には、保健省の各局・部門の代表者の他、Vietnam Pharmaceutical Corporation（Vinapham）および Central Pharmaceutical Joint Stock Company No.1（CPC1）の幹部も参加しました。

日本企業との協力拡大を歓迎

ドー・スアン・トゥエン副大臣は、富田久雄氏ならびに Tomita Pharmaceutical、日本の森永乳業株式会社の代表団を歓迎しました。副大臣は、近年ベトナムと日本の協力関係が様々な分野で着実に発展していることを強調し、医療分野においてもベトナムは日本の政府機関、団体、企業からの協力や経験共有を高く評価していると述べました。また、富田氏および日本企業がベトナム市場に高い関心を持ち、医薬品・ヘルスケア分野での協力強化を提案していることを歓迎し、日本企業を含む先進的な技術・経験を有する企業の参画を支持する姿勢を示しました。



日本企業側の発言

富田久雄氏および訪問団に参加した企業の経営陣は、保健省および副大臣による丁重な歓迎と率直な意見交換に謝意を表しました。

また、日本企業は、ベトナムへの投資・生産・事業展開を通じて得られた成果を紹介するとともに、Vinapharm、CPC1、Tomita および日本企業との協力が、製品供給・流通の枠を超え、投資、生産、研究開発、技術移転、人材・能力強化へと発展する可能性があることを共有しました。



ベトナム医薬品産業の方向性

ドー・スアン・トゥエン副大臣は、ベトナム政府が現在、

- 医薬品の国内生産能力向上
- 品質・安全性・有効性を備えた医薬品の安定供給
- 技術革新および研究開発の推進
- 高付加価値製品の生産能力強化

を目的として、医薬品産業の近代化と自立化を進めていると説明しました。

その中で、日本のような医薬品産業先進国との国際協力を積極的に推進し、技術・経営ノウハウ・投資資金の導入を奨励していると述べました。

日本企業への提案

副大臣は、日本企業に対し次のような取り組みを提案しました。

1. 高品質な製品ラインアップの拡充

ベトナム市場の需要に適した医薬品、医療機器、ヘルスケア製品の導入・拡充を進めること。

2. ベトナム国内での投資・生産・技術移転

ベトナムにおける投資、生産、技術移転の可能性を検討すること。

副大臣は、

「これは国内生産能力の向上とサプライチェーンの自立性強化に貢献する重要な協力分野です」と述べました。

3. 研究開発（R&D）の強化

日本企業の技術力や経験と、ベトナム企業の生産能力・販売網・市場知識を組み合わせた研究開発協力を推進すること。

4. 医薬品サプライチェーン管理の協力

需要予測、調達、保管、輸送、品質管理、トレーサビリティ確保などの分野で協力を強化すること。

副大臣は、

「これは安定的かつ継続的で安全な医薬品供給を確保する上で極めて重要な内容です」

と強調しました。

さらに、医薬品以外の健康増進関連分野についても、双方の強みやニーズ、発展方針に合致する協力テーマを検討するよう呼びかけました。

法令順守の重要性

最後に、副大臣は、

- 医薬品法
- 投資法
- 生産・事業活動に関する規制
- 品質管理に関する規定

など、ベトナムの関連法令を遵守した上で、実効性のある協力を進めることの重要性を改めて強調しました。

